

人材育成

人材育成方針

当行が長期ビジョンで掲げる「グリーン&コンサルバンクグループ」を推し進め、地域・お客さまから「頼りにされる銀行」となるため、求める人材像を「高いモラルと豊かな発想で行動する自立した企業人」と定め、主体的に「学び」「考え」「前進(行動)」(STUDY・THINK・ADVANCE)する行員を育成しています。

そして、「OJT指導」「OFF-JT(研修等)」「自己啓発」の3つの相乗効果を通じて成長を促し、全行員がより地域・お客さまに役立つ真のプロフェッショナル人材となることをめざしています。

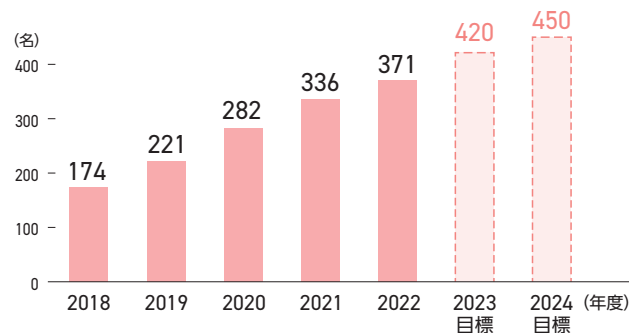
コンサル人材の育成

コンサルティング営業に欠かせない専門知識・能力を有した人材の育成に注力しています。FP1級技能士、CFP、中小企業診断士、税理士、社会保険労務士、証券アナリスト、CIA(公認内部監査人)の7種類の専門資格を百五プロフェッショナル資格と位置づけ、保有者数450名体制を達成するために資格取得支援を行っています。これにより、行員4~5人に1人が百五プロフェッショナル資格の保有者という強固な体制を構築していきます。

また、資格取得支援に加え、資格・知識を実践に活かすべく、少人数かつ実践型(トレーニー型)の研修に注力し、コンサルティング能力を高めています。具体的には、法人コンサルティング部を中心とした、長期・中期・短期トレーニーのほか、個人向けには相続コンサルトレーニーも実施しています。2023年度からは新たに事業性評価に関連したトレーニーも開始します。



プロフェッショナル資格保有者数



デジタル人材の育成

当行では現在、ICTソリューションによりお客さま支援につなげる「デジタルコンサル人材」、スマホアプリの開発に携わる「アプリ化支援人材」、RPA・BPRなどの行内システムの開発を行う「システム開発人材」、行内データを活用して営業活動に活かすことのできる「データ利活用人材」の4分野において、金融DXに対応できる専門的なデジタル人材の育成を図っています。

2021年度にはアプリ開発の体験型研修、2022年度にはデータ利活用を学ぶトレーニーやAI・プログラミングにチャレンジする研修など、これまで体験を通じた実践型の研修を実施し、スキル習得に注力してきました。今後も、各種研修や外部出向にて行員の知識・スキルの向上を支援し、デジタル人材を育成します。

また、全行員に対する知識面では、国家試験である「ITパスポート」について、中期経営計画内で500名の合格に向けて支援を行うほか、全行員がeラーニングによりDXやIT、データ活用を学ぶ「デジタルリスキリング」を開催し、デジタルリテラシーの向上を図っています。

